



写真7...キヌガサタケ 秋に発生

別の地点でも発生を確認

2006年7月22日、会員の降旗治幸さんが城址公園のまた別の場所でキヌガサタケと出会っていたことを知る。送っていただいた写真(写真8)を見ると、つぼは若干白いものの、レースの質感などはアカダマキヌガサタケに類似していた。グレバは腐った果実臭がしたとのことで、なんと昨年の7月にも同所に発生したとのことだ。ここでは秋にも発生するのだろうか。また、秋に発生した場所には夏も発生するのだろ

うか。条件はいったいなんだろう。疑問は次々わいてくる。夏が過ぎて秋も深まり、私は今回どちらのキヌガサタケにも出会えないままシーズン終了となった。そして、観察は来年へ続く。



写真8...アカダマキヌガサタケ、降旗治幸さん撮影

海外旅行の楽しみ 博物館編

吉田 悦子

私の海外旅行のもう一つの楽しみに博物館や植物園に行くことがあります。2006年は個人旅行でオーストラリアのメルボルン(1月)とタスマニア島(3~4月)、ニュージーランド北島(11~12月)へ、バックツアーで英国(6月)に行きました。メルボルンでは王立植物園、博物館、水族館に行きました。メルボルン博物館はForest Galleryという自然史コーナーがお勧めです。館内に生きた植物で森が再現され、生きた動物を間近に見ることができます。じっとしているとカゲがのっそり出てきたり、鳥が茂みに隠れていたり、その展示方法に驚きました。入館料はAU\$6でした。タスマニアではホバートにある王立植物園に行きました。両王立植物園とも広く、美しく、入園料は無料でした。英国のロンドンでは大英博物館にはツアーの見学コースとして、自然史博物館には自由行動の限られた時間内に行ったので、どちらも建物に行っただけという状態でしたが、その立派さには圧倒されました。両館とも入館料は無料で寄付制となっています。次回はゆっくり訪れてみたいと思います。ニュージーランドではオークランドの博物館(NZ\$10)、植物園(無料)などに行きました。